

ハンドボール No29

Japan
Handball
Association



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生

全国大会
 フロック大会
 都道府県大会

男子
 女子

試合
番号 3

年月日 2022 年 10 月 7 日 (金)
 大会名 第77回いちご一会とちぎ国体

公 式 記 録 用 紙

A						北海道										三重県						B			
都道府県		市町村		会場		会場		会場		会場		会場		会場		会場		会場		会場					
栃木県		野木町		野木町立野木中学校		野木町立野木中学校		野木町立野木中学校		野木町立野木中学校		野木町立野木中学校		野木町立野木中学校		野木町立野木中学校		野木町立野木中学校		野木町立野木中学校					
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m追加ポイント	A	B											
	4	18		8	38																				
7m得点/総数		A		チームタイムアウト				チームタイムアウト		B		7m得点/総数													
1/1		1		2 後 3				1 2 3		0/0															
		1453		1714				2235																	
No.	北海道					G	W	2'	2'	D	DR	No.	三重県					G	W	2'	2'	D	DR		
1	藤木 円来											1	岩見 佳音												
4	竹林 千穂					2						2	森本 方乃香					6		1					
5	松川 捺樹											3	原 希美												
8	小田原 海					2						4	佐伯 綾香							1					
9	沢田 響					2						5	林 美里					2							
10	三浦 あいり					2						6	小林 紗加					3							
11	罾谷 那奈											7	渡辺 樹					5							
												8	飯塚 美沙希					1							
												9	熊崎 かずみ					4							
												10	中田 夏海					4							
												11	鳩野 果歩					13							
												12	花村 美香												
監督A	池田 和嗣											監督A	石立 真悠子												
役員B												役員B	黄 慶泳												
役員C												役員C	梶原 晃												
役員D												役員D													

A 池田和嗣 チーム役員A署名 石立真悠子 B

特記事項

レフェリー	高橋 ひかり	山崎 大介	高橋ひかり	山崎大介
TD	鎌田 圭二	亀崎 拓也	鎌田圭二	亀崎拓也
MO	菊田 政行		菊田政行	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール NO28

第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体

試合結果・戦評報告書

競技日	10月7日(金)	試合番号	E-コ	回戦	2回戦
種別	成年女子	会場	野木町立野木中学校体育館		
Aチーム名			Bチーム名		
北海道			三重県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
8	4	前半	18	38	
	4	後半	20		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

お互いに本大会の初戦となった北海道と三重の試合は、立ち上がりから三重が⑩嶋野の連続得点で流れをつかむ。一方、北海道は⑨沢田がミドルシュートを決めてリズムをつかもうとするが、三重⑩嶋野、②森本が右サイドを中心に北海道ディフェンスを攻略し、序盤で8対1とリードを奪う。北海道はタイムアウトで流れを切ろうとするが、三重の勢いはさらに増し、中盤以降も⑨熊崎の左サイドシュートや⑦渡辺のポストシュートなどで加点し北海道を突き放した。北海道は④竹林、⑨沢田を軸に攻撃を組み立てるが、三重の高く堅い守りを崩せず苦しい展開となる。しかし途中からポスト⑩小田原をフローターにポジションを替えると攻撃に変化が生まれ、23分、⑩小田原がカットインから粘り強くシュートに持ち込んで得点を決めた。さらに終盤⑩三浦の左サイドからのシュートと⑨沢田の7mTが決まり、2点を取り返した。

後半開始1分、北海道は、退場者が出て6人攻撃のためにGKを外していた三重の無人のゴールにロングシュートを決め、5点目を奪った。ここからポスト⑥松川が左右に動いてボールを回していくことで北海道の動きがよくなってきたが、それでも三重の堅い守りを崩せず、フローター陣のロングシュートはゴールの枠を捉えられない。一方、三重は組織的な守りから速攻につなげ、⑩嶋野、⑦渡辺、②森本らが次々に得点していった。中盤から終盤にかけて、北海道は⑩三浦がノーマークをつくってポストシュートを決め、④竹林がコート中央左側からカットインとミドルシュートで2得点をあげる活躍を見せたが、北海道の反撃もここまで。三重が北海道を圧倒し、準々決勝にコマを進めた。人数がギリギリの中精一杯戦った北海道と、最後まで攻撃の手を緩めない三重の気迫が伝わってくるゲームだった。

記載者氏名

青木 圭

送信日時

10月7日(金) 14:18